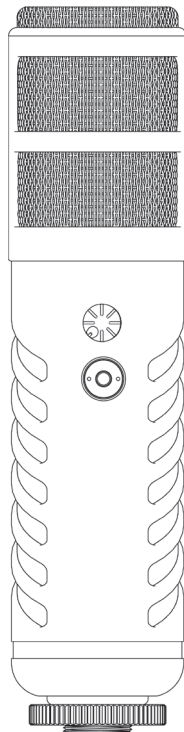


RØDE[®]
MICROPHONES

Podcaster
USB MICROPHONE



USER'S MANUAL
日本語版



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

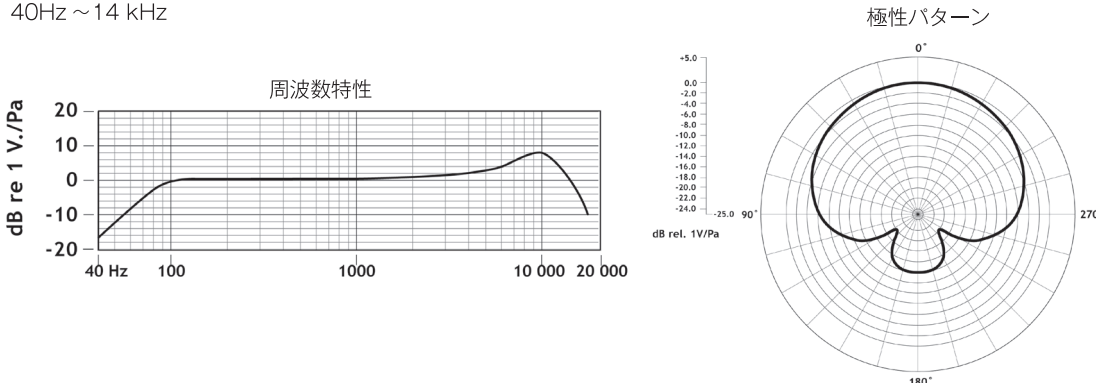
はじめに

この度はRODE PODCASTERをお買い上げいただき、誠に有難うございます。PODCASTERは音声をクリアに收音し、直接デジタル機器に接続することが可能なマイクロフォンです。ポッドキャストの番組を作るだけでなく、デジタルビデオ編集で音声を加える事や、ロケ撮影中のレポートをラップトップに録音し、スタジオにメールで配信すれば即時放送も可能になります。製品の性能を最大限に発揮し、未永くお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、お読みになった後は保証書と一緒に大切に保存して下さい。

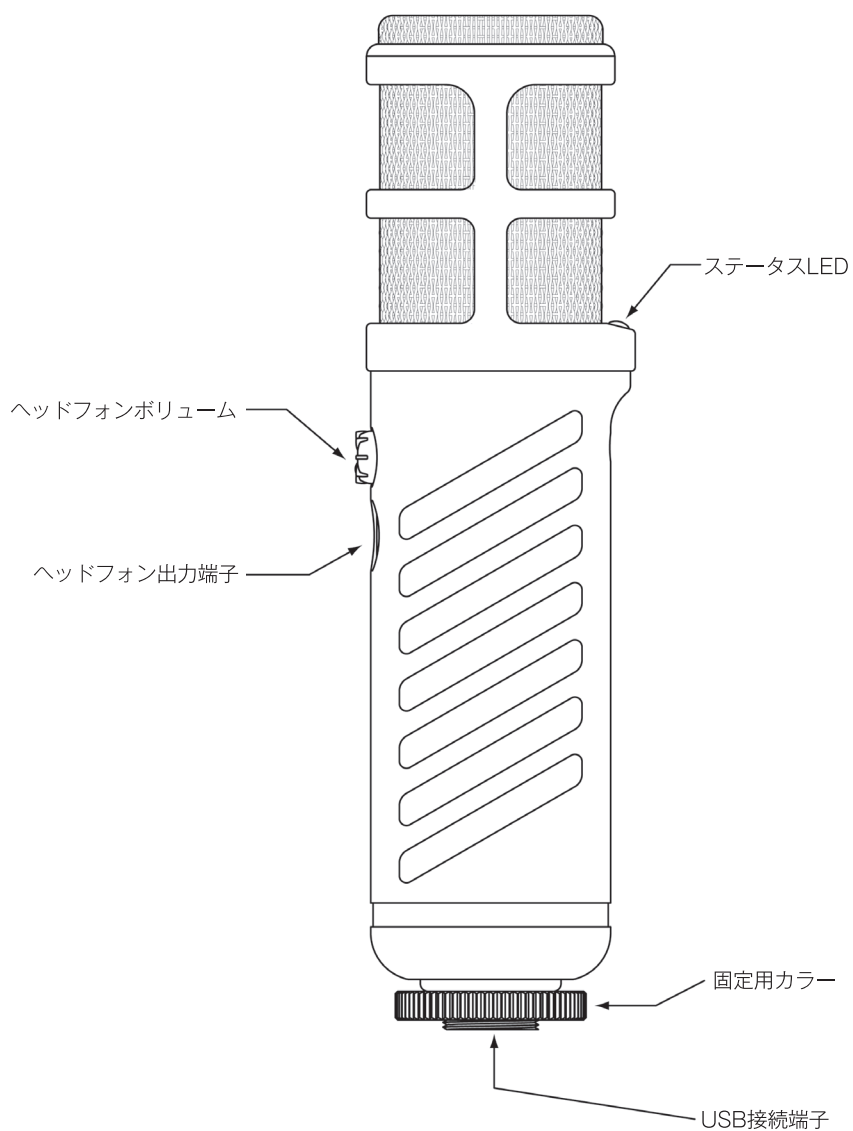
特徴

- 高音質でブロードキャストに最適なサウンド
- 28mmのネオジミウム・ダイナミックカプセル
- 18bitの解像度、8kHzから48kHzのサンプリング周波数
- Windows/Mac双方に対応
- タイトなカーディオイドパターンで、優れたオフアクシス・リジェクションを実現
- USBバスパワー
- スタンドマウント、USBケーブル(3m)付属
- ショックマウント内蔵カプセル
- ボリュームコントロール付き3.5mmステレオヘッドフォン端子装備

仕様

音響方式	28mmネオジミウム・ダイナミック型
電気系統	アナログ信号処理、A/D変換、USBインターフェース
指向性	単一指向性
周波数特性	40Hz ~ 14kHz
感度	-51dB re 1V/Pascal (2.8m @94dB SPL) +/- 3dB
最大SPL	115dB
S/N比	78 dB以下
アナログ出力	モニター用ヘッドフォン出力 150mW @32 Ω 出力レベル調整
デジタル出力	USB
解像度	18 bit
オーディオコントロール	AC97
電源	USBポートより電源供給が可能
重量	610 g
寸法	215mm(L) x 56mm(H) x 52mm (W)
周波数特性	40Hz ~ 14 kHz  <p>The table cell for frequency characteristics contains two graphs. On the left is a line graph titled '周波数特性' (Frequency Response) showing gain in dB re 1 V/Pa on the y-axis (ranging from -20 to 20) against frequency in Hz on a logarithmic x-axis (ranging from 40 Hz to 20,000 Hz). The curve is flat at 0 dB from 100 Hz to 10,000 Hz, with a slight rise to about 5 dB at 10,000 Hz and a roll-off to -10 dB at 20,000 Hz. On the right is a polar pattern diagram titled '極性パターン' (Polar Pattern) showing a cardioid response. The y-axis is dB rel. 1V/Pa (ranging from -24.0 to -5.0) and the x-axis shows angles from 0° to 180°. The pattern shows a main lobe pointing towards 0° and a smaller lobe pointing towards 180°.</p>

各部名称



PODCASTERの接続と設定

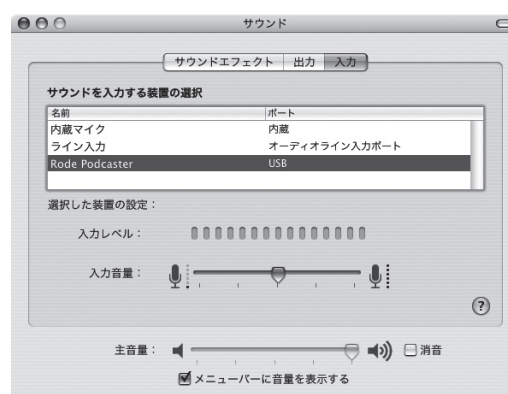
PODCASTERの設定は二つの方法があり、録音時にどの程度の調整を行いたいかによって変わります。PODCASTERはUSB接続に対応しているので、パソコン/MACとUSBケーブルで接続するだけで、OSに標準インストールされているオーディオインターフェースを使って録音を始める事が出来ます。

PODCASTERをMAC OS Xで使用する

- ① USBケーブルの片側をPODCASTERに、もう片側をMACのUSBポートに接続します。LEDが赤く点滅した後、緑色に点灯し、PODCASTERがUSBからの電源を使って正しく機能していることを表します。MACがUSBオーディオデバイスを認識し、ユニバーサルドライバーを自動的にインストールします。
- ② PODCASTERをMACの新しいオーディオ入力機器として選択する為に、Dock上もしくはメインAPPLEメニューから『システム環境設定』を開きます。(図3)
- ③ 次に『サウンド環境設定』を開き、『入力』タブをクリックし『RODE PODCASTER』を選択します。(図4) これでMACに標準で入っているサウンドレコーディング用ソフトウェアを通じてPODCASTERを使用することが出来ます。



(図3)

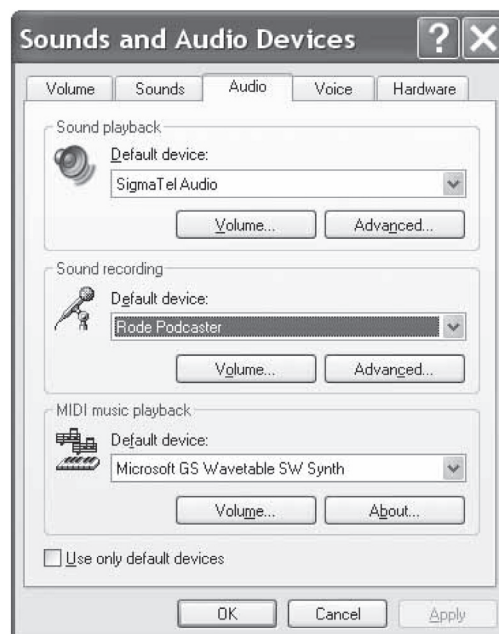


(図4)

PODCASTERをWindows XPで使用する

注意：以下はPODCASTERをWindows XP Service Pack2で使用する場合の設定方法です。他のバージョンでは設定方法が異なる事があります。

- ① USBケーブルの片側をPODCASTERに、もう片側を使用するPCに接続します。LEDが赤く点滅した後、緑色に点灯し、PODCASTERがUSBからの電源を使って正しく機能していることを表します。
PCがUSBオーディオデバイスを認識し、ユニバーサルドライバーを自動的にインストールします。
- ② コントロールパネル上の『サウンドとオーディオデバイス』アイコンをクリックし、プロパティを開きます。『オーディオ』タブをクリックし、『録音』のオプションで『RODE PODCASTER』を規定のデバイスに選択します。(図5)
- ③ これでPODCASTERをPC上のサウンドレコーディング用ソフトウェアを通じて使用する事が出来ます。
- ④ レコーディングレベルを調整するには、録音設定の『音量』ボタンをクリックします。



(図5)

PODCASTERをWindows 98で使用する

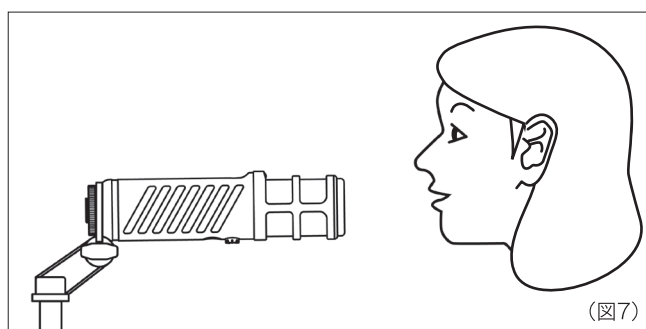
- ① USBケーブルの片側をPODCASTERに、もう片側を使用するPCに接続します。LEDが赤く点滅した後、緑色に点灯し、PODCASTERがUSBからの電源を使って正しく機能していることを表します。PCがUSBオーディオデバイスを認識し、ユニバーサルドライバーを自動的にインストールします。
- ② コントロールパネル上の『サウンドとマルチメディア』アイコンをクリックし、プロパティを開きます。『オーディオ』タブをクリックし、『録音』のオプションで『USBオーディオデバイス』か『RODE PODCASTER』を優先するデバイスに選択します。
- ③ これでPODCASTERをPC上のサウンドレコーディング用ソフトウェアを通じて使用する事が出来ます。

PODCASTERの電源と操作

PODCASTERにはUSB経由で電源が供給される為、外部電源は必要ありません。PODCASTERをPCのUSBポートに接続すると、インジケータが一瞬だけ赤に点灯した後、緑色に点灯します。緑のインジケータはPODCASTERに電源が供給されていて録音が始められる状態にあることを表し、USBポートから外すまで点灯しています。

PODCASTERで音声を収録する

PODCASTERはエンドアドレス型のマイクロフォンです。声をよりクリアに録音する為にはマイクの上部に向かって発声する必要があります。下図のようにマイクに向かって発声している場合、インジケータのLEDが緑になっている事を確認する事ができます。使用されているカプセルの極性は『単一指向性』です。主にカプセルの前方からの音を拾う事ができます。側面からの音に対しては、前方から録音した場合の音と比べてかすれた、弱い音になります。



PODCASTERの設置

録音環境やバックグラウンドノイズは設置位置によって大きく変化するため、どこにPODCASTERを設置するかによって音質が左右されます。できる限りバックグラウンドノイズの影響を受けない様に様々な位置を試す事で最適な設置位置を見つける事ができるでしょう。

近接効果とは、音源がマイクに近い場合に低音域が強調される現象です。この効果を利用して、音質を上げる事も可能ですが、音源がマイク近すぎると歪んでしまう事がありますのでご注意ください。

ヘッドホンの接続

PODCASTERの便利な機能の一つが内蔵されたヘッドホンアンプです。ヘッドホンのミニフォンジャックをPODCASTERに接続し、音量を調節するだけでマイクが拾った音を直接モニタリングできます。

ヘッドホンを直接接続する事の利点は、録音しているそのままの音をリアルタイムで確認する事が出来る事です。つまり、録音時により正確な調整が可能となり、問題があったとしても早い段階で発見できる為、再録音の手間を省く事が出来ます。

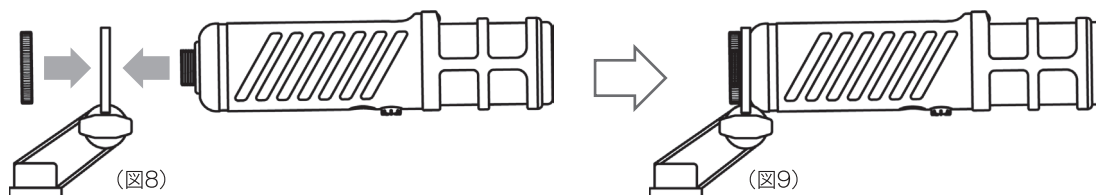
PODCASTERのマウント

PODCASTERにはスタンドマウントが同梱されており、これを取り付ければマイクスタンドや、テーブル固定型のブームアームなどにマイクを固定する事が出来るようになります。

このマウントに取り付けられている3/8インチネジは取り外し可能で、取り外すと内側にある5/8インチネジを使用することが出来ます。更に、蝶ネジでマイクの角度を自由に調節できます。

マイクをスタンドなどにマウントする際は以下の手順で行ってください。

- ① マイクのベースから固定用カラーを取り外します。
- ② ベースをスライドさせ、スタンドマウントの穴に差し込みます。(図8)
- ③ カラーを元の位置に取り付け、マイクがマウントにしっかり固定されている事を確認してください。(図9)
- ④ スタンドマウントの蝶ネジを緩め、マイクを適切な角度に調節して下さい。
角度が決まったら、再度蝶ネジを締めてください。

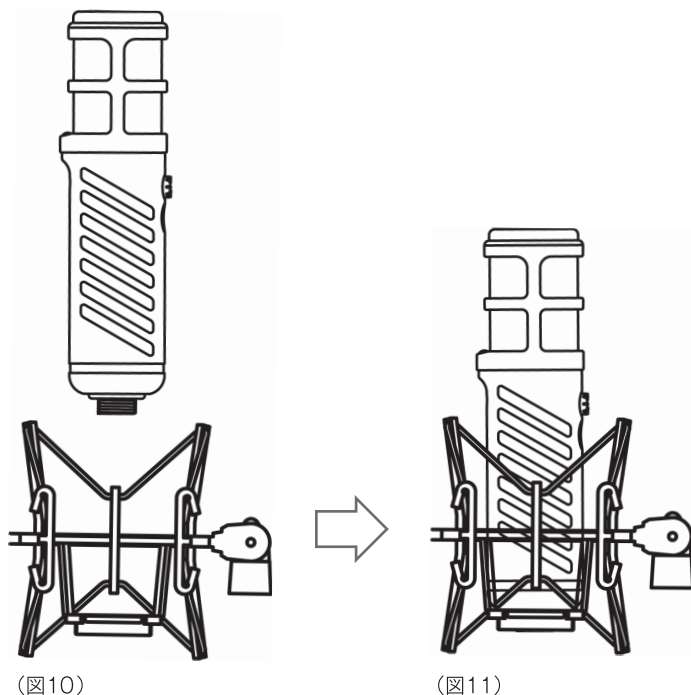


ショックマウントPSM-1(オプション)の使用について

オプションのショックマウントPSM-1を使用すれば、振動による不必要なノイズを大幅に削減する事が可能です。マイクの取り付けは以下の手順で行ってください。

- ① まずPSM-1をマイクスタンド、ブームアーム等にネジで留めます。
5/8インチネジ付きのスタンド、ブームを使用する場合は3/8インチネジを取り外してください。
- ② PODCASTERのベースから固定用カラーを取り外し、失くさない様に保管してください。
- ③ PODCASTERをPSM-1の中心に差し込み、下部のプレートに取り付けます。(図10)
ショックマウントの中心にある固定用カラーをPODCASTERの下部に取り付けてください。
- ④ ショックマウントの固定用カラーを回してPODCASTERをしっかりと固定してください。(図11)
- ⑤ PSM-1の蝶ネジを緩めて、PODCASTERを適切な角度に調節してください。
最後に蝶ネジを締めなおしてください。

※注:蝶ネジを締めすぎるとネジが壊れ、適切な位置に固定できなくなりますのでご注意ください。



保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より10年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より10年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。

